

各 位

2020年7月27日

SBIホールディングス株式会社

ブロックチェーンソリューション「Corda」を活用した
「Sコイン」の実証実験に関するお知らせ

SBIホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：北尾 吉孝、以下「SBIH」）は、米R3社が提供するブロックチェーンソリューションである「Corda」を用いたデジタル通貨等の発行プラットフォーム「Sコインプラットフォーム」を構築し、2020年7月からSBIグループ社員を対象に実証実験を開始しましたので、お知らせいたします。

Cordaは従来のブロックチェーンプラットフォームが抱える問題点を克服し、エンタープライズでの使用を想定して開発された、プライベート/コンソーシアム型のブロックチェーンソリューションです。Cordaを用いて構築されたSコインプラットフォームでは、前払式支払手段の電子マネー等、用途に応じて独自のデジタル通貨を設計し、発行することが可能であり、今回の実証実験ではSBIHが発行する決済用コイン「Sコイン」の発行に使用します。

本実証実験ではこのSコインプラットフォームと、SBIHの子会社であるマネータップ株式会社が提供するスマートフォン用送金・決済アプリ「Money Tap（マネータップ）」が連携して動作する仕組みを構築しました。

Money Tapは、銀行口座から銀行口座への直接送金、即時着金を実現したアプリであり、この両者の組み合わせは、利用者の利便性向上に資するものと考えております。チャージについては、Money Tapアプリで銀行口座からSコインプラットフォームに直接送金を行うことで、Sコインプラットフォーム上にSコインが発行される仕組みとなっております。決済については、Money Tapが提供する決済サービスの加盟店で行うことが可能です。通常は銀行口座の残高から支払いが行われますが、今回の実証実験ではSコインの残高から支払いが行われます。

SBIHでは、今回の実証実験を通じ、ブロックチェーンプラットフォームのさらなる活用・普及を図ってまいります。また、SBIグループではグループ全体で「地方創生」プロジェクトを推進しており、その一環として、地域金融機関等と連携し、複数地域でデジタル通貨発行を支援しております。本実証実験を通じてSコインプラットフォームの検証を行い、今後は地域通貨の発行プラットフォームとしても活用していく予定です。

以上

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：

SBIホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126